

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2017年6月1日～2026年3月31日の間に、リウマチ性多発筋痛症のために虎の門病院分院腎センター内科科に入院・通院し、PET/CT検査および造影MRI検査を受けられた方

【研究課題名】

リウマチ性多発筋痛症における Subtraction 法を用いた造影 MRI と 18F-FDG PET/CT の所見の比較検討

【研究の目的・背景】

《目的》

リウマチ性多発筋痛症の診断において、高コストで被曝を伴う PET/CT の代替として、より汎用性の高い造影 MRI (Subtraction 法) の診断能を評価し、臨床現場での効率的な診断手法を確立することを目的としています。

《研究に至る背景》

PET/CTは診断に有用ですが、実施できる施設が限られ、医療費の負担も大きいという課題があります。一方、造影 MRI の画像を加工する「Subtraction 法」は、炎症部位を感度良く捉えることができ、PET/CT の代わりとなる有用な診断ツールの可能性があります。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2026年9月17日 ～ 2027年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院分院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院分院 腎センター内科（責任者：澤直樹）もと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院分院外へ提供する場合】

該当ありません（本研究は単施設での実施です）。

【利用する診療情報】

年齢、性別、薬剤使用状況、血液検査データ（CRP、MMP-3、RF、ACPA 等）、PET/CT 画

像データ、MRI 画像データ

【虎の門病院分院における研究責任者】

虎の門病院分院 ・ 腎センター内科 ・ 澤 直樹

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026 年 12 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 澤 直樹
電話 044-877-5111 (代表)